日医発第1356号（法安）
令和８年10月７日

都道府県医師会長　殿

日本医師会
会長　松本　吉郎
（ 公 印 省 略 ）

令和８年度 死体検案研修会（上級）の開催について

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素より死因究明体制の充実につきまして、多大なるご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申しあげます。

さて、すでにご承知のとおり、日本医師会では、平成 26 年度より、それまで厚生労働省が国立保健医療科学院でおこなってきた研修会を、厚生労働省死体検案講習会事業の委託※を受け、日本法医学会等の関係学会ご協力のもと、死体検案研修（上級）として開催しているところです。（※令和２年度からは、厚生労働省医療施設運営費等補助金（死体検案講習会事業）により実施）

今年度も、昨年度に引き続き、座学講義部分については、一部、対面形式の研修も組み合わせながら、e-learning 形式（オンデマンド方式）を基本として開催し、また大学医学部法医学教室等における見学実習については、従来どおり各自で受講することとして開催いたします。（別添 実施要領をご参照ください。）

貴会におかれましては、死体検案業務に従事される方々に参加を呼びかけていただきたく、貴会「警察活動に協力する医師の部会」等の先生方にも周知方ご高配賜りますようお願い申しあげます。

敬具

担当課
日本医師会 医事法・医療安全課（新田）
〒113-8621　東京都文京区本駒込 2-28-16
Tel　０３－３９４２－６４８４（ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ）
Fax　０３－３９４６－６２９５
E-mail　law-safe@po.med.or.jp

令和８年度 死体検案研修会(上級)
実施要領

○ 目　的：「死体検案」業務の充実を図るため、日本法医学会等の関係学会ご協力のもと、日頃、検案実務に従事する機会の多い医師を対象に、検案業務に関する研修を開催する

○ 対象者：検案業務に従事する機会の多い医師
（具体的には、日頃、警察の検視に立ち会うなど、日常的に検案業務に携わる、若しくは今後その予定のある医師を対象とする）

○ 開催形式・期間：

・講　　義　　e-learning 形式（オンデマンド型）※（期間内に予め撮影した講義動画を受講者専用サイトにて視聴、確認テストを実施）

＜視聴可能な期間＞　令和８年 12 月４日（金）午前 11 時
～令和９年２月 25 日（木）午後３時（予定）

※一部科目については、対面形式も実施（希望者のみ、定員あり）
令和９年１～２月頃に半日程度で開催予定（詳細は、後日、受講決定者に連絡する）

・見学実習　　講義動画を視聴後、監察医務機関等における監察医業務や大学医学部の法医学教室における法医学解剖等の見学実習を実施

＜期間・日数＞　講義動画視聴後より令和９年９月 30 日までの間の１日間
＊実習可能な施設については、後日、受講者専用サイトに掲示する

○ 定 員： 300 名　　○ 受 講 料：無 料

○ 主 催：日本医師会（令和８年度 厚生労働省 医療施設運営費等補助金 死体検案講習会事業）

○ 修了証書の発行：見学実習を含む全てのカリキュラム（対面形式の講義を除く）を受講し、修了要件を満たしたと判定された受講者に後日、「修了証書」を発行する
（令和９年 11 月頃までに順次発送の予定）

○ 備 考：令和８年度の日医生涯教育単位については、要件を満たさないため（e-learning 形式（オンデマンド型）不可）対象外となる

○ 申込み方法：日本医師会ホームページ［医療安全・死因究明］コーナー（http://www.med.or.jp/doctor/anzen_siin/）より、「令和８年度「死体検案研修会（上級）」のご案内」（令和８年 11 月中旬開設予定）へ進み、メールアドレスを登録する。登録後に送られてくるメールに記載された URL より申込フォームを開き、必要な情報を入力する
<u>定員に達し次第締め切る（先着順）</u>

申込受付開始　：　令和８年 11 月 19 日（木）　午前 11 時
申 込 締 切 日 ：　令和８年 12 月１日（火）　午後３時（予定）
＊定員に達し次第締め切る（先着順）

＜連絡先＞ 公益社団法人　日本医師会　医事法・医療安全課
〒113-8621 東京都文京区本駒込 2-28-16
TEL 03-3942-6484　　FAX 03-3946-6295　　E-mail　law-safe@po.med.or.jp

令和８年度　日本医師会　死体検案研修会（上級）プログラム

＜座学講義（e-learning 形式（ｵﾝﾃﾞﾏﾝﾄﾞ型）。一部科目※については対面形式も実施予定（希望者のみ））＞

・期間内に各講義動画を受講者専用サイトにて視聴、確認テストを実施。

・受講者からの質問は、受講者専用サイトで受け付け、それに対する回答・解説を後日、追加で掲載。

○講義動画視聴期間（予定）：令和８年 12 月４日（金）午前 11 時～令和９年２月 25 日（木）午後３時

１.わが国の死因究明制度	木下 博之	（科学警察研究所）	30 分
２.死体現象と死後経過時間推定	池松 和哉	（長崎大学）	30 分
３.窒息死（総論）	池松 和哉	（長崎大学）	60 分
窒息死（各論）			
４.死亡診断書・死体検案書の作成上の留意点	井濱 容子	（横浜市立大学）	60 分
死体検案の実際と検案の留意点			
５.損傷（総論）	近藤 稔和	（和歌山県立医科大学）	60 分
損傷（各論）			
６.死因論	近藤 稔和	（和歌山県立医科大学）	30 分
７.異常環境死	池田 知哉	（佐賀大学）	30 分
８.内因性急死	佐藤 貴子	（大阪医科薬科大学）	30 分
９.在宅死、入浴死	臼元 洋介	（九州大学）	30 分
10.家庭内虐待	髙宮 正隆	（岩手医科大学）	30 分
11.乳幼児死亡	池田 知哉	（佐賀大学）	30 分
12.中毒死	木下 博之	（科学警察研究所）	30 分
13.死亡時画像診断	岩瀬博太郎	（千葉大学）	30 分

※以上のうち、２科目程度は対面形式による講義（質疑応答含む）と総合質疑応答を実施予定。（希望者のみ）

【東京】（令和９年１月中旬～２月中旬ごろ開催予定）

＜見学実習＞

・座学講義動画を視聴後、監察医務機関等における監察医業務または医学部法医学教室等における法医解剖等の見学実習を実施。

○期間・日数：座学講義動画視聴後より、令和９年９月 30 日（木）までの間の１日